

伊丹市議会議員 おおつる 求の活動報告

みんなちがって、
みんないい

公立幼稚園・保育所の統廃合を含む市幼児教育推進計画案 12月議会提出断念に追い込んだ“市民のチカラ” 市は計画案を修正し、1月の臨時議会提出へ

昨年8月に市が発表した公立幼稚園・保育所の大胆な統廃合を含む幼児教育推進計画案。

「意見を聞いて」、「納得のいく説明を」、「4ヶ月で議決は拙速」という市民の声が全市的に広がり、『計画案の見直しを求める』署名約2万3千筆が藤原市長へ手渡され、パブリックコメントには異例の873人が意見を提出した。

11月22日、市は今までの答弁とは整合性が保てない「改正案」まで示し、「12月議会に提出」と一貫して答弁していたが、28日に「市民への周知・説明不足」を理由に提出断念を表明した。

本当の幼児教育充実を図るために頑張ります。

12月議会での答弁等で判明したことは以下の通り。

- | | |
|--------------------------|--------------------|
| ①計画案を修正して1月臨時議会に提出。 | ②全市民向け説明会を1回開催。 |
| ③説明会日程等を就学前児童がいる世帯へDM送付。 | ④説明会で意見がでてでも反映しない。 |
| ⑤1月広報に「計画案別刷り版」を挟み込み。 | ⑥臨時議会で否決なら実質的に廃案。 |



署名を受取り、話を聞く市長・教育長

「1回だけ大きいホールで説明会するけど、意見言っても同じですよ。修正案に市民・議会が賛成しなかったら、公立幼稚園がどうなっても知りませんよ」、って感じだろうか。とても威圧的なものを感じた。

公立幼稚園の現状は早急に手を打たなければならないのは共通認識。ただ計画案の内容や市の進め方が、おかしいから「オカシイ」と市民が声を挙げ、議員が何度も質問している。

それらを謙虚に受け止めない市の姿勢を大変残念に思う。

《想定されるスケジュール》

1月13日(土)
午前10時 いたみホール
伊丹市幼児教育推進計画
“修正案”の説明会。

- *どなたでも参加できます。
- *説明会は1回限り。
- *会場での意見は、
計画案に反映されません。

市議会臨時議会

1月17日～2月9日

- 17日 提案説明
- 22日 議案質疑
- 31日 文教福祉常任委員会
- 2月9日 議決

議会 質問

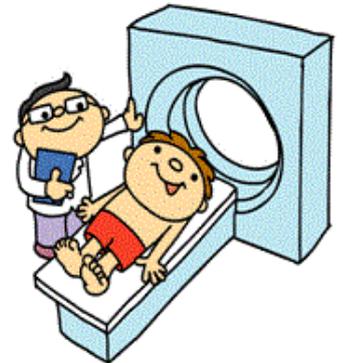
12月議会では、市幼児教育推進計画案の他に、2つ質問しました。

- ①伊丹市の「アスベスト検診」について *「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」
- ②見守りカメラの運用について *条例との整合性 *画像データを警察署へ提供する件

アスベスト健診の重要性を訴え

環境省は自治体に委託する形で、生活環境の聞き取りや胸部CT検査、その上で保健指導や健康相談等をする「石綿ばく露者の健康管理に係る試行調査」をおこなっており、今年度は尼崎・西宮を含む全国23市町で実施した。

環境省は関心を持った自治体を新たな対象地域に指定するなど、対象者を大幅に増やす方針を固めており、本市も様々な課題はあるものの参加に向けて前向きに検討すべき、と要望した。



市が警察の下請けに機関にならないために

各小学校区50台、市内850台の防犯カメラが街中に設置している伊丹市。その画像データは申請のあった兵庫・大阪の警察署へ粛々と提供されている。昨年度が273件・898台分、今年度は上半期だけで369件・1,655台分と、提供件数は増加の一途。

地上4~5メートルが、見やすい場所！？

カメラ設置条例で「見やすい場所に、カメラが作動中である旨を、分かりやすく表示」と定められているが、その表示はカメラ本体側面にしている、とのこと。

確かに表示はされている(左上)が、「見やすい場所」「分かりやすく表示」なのかは、かなり無理があるのでは。(右)



警察は公務員だから法や条例を順守すると認識！？

市は伊丹警察署としか「目的外利用の禁止」や「運用管理」が定められた“協定書”や“覚書”を結んでいない。結ばなくても「適切に運用されていると認識している」というが、画像データを提供するのであれば“協定書等”を結ぶべきだ。

何をもちて市は警察署が「適切に運用されていると認識している」のかを尋ねたところ、「警察官は公務員なので、個人情報保護法や条例を順守する」との事。

“権力は濫用する。だからチェックシステムが必要だ”

カメラ問題に詳しい大川一夫弁護士は「警察を無批判に信用するのではなく、“権力は濫用する。だからチェックシステムが必要だ”という視点に立つことが大切」と指摘する。

市が税金を使って警察の“下請け機関”にならないためにも、画像データ提供前後のチェック体制が大切だ、と問題提起を続けていきたい。

12月議会 アレコレ

12月議会は21名の議員が一般質問に立ちました。
その中から、気になる話題をピックアップしてご報告します。

こども通院時の医療費助成を拡大。

現行は、小学1年生から3年生が自己負担3割・一日800円(月2回)上限、
小学4年生から中学3年生は自己負担2割だが、7月1日から小学1年生から
中学3年生まで自己負担2割・一日800円(月2回)上限となる予定。



(仮称)伊丹市手話言語条例制定へ。

「手話が言語であること」「手話への理解促進」「聴覚障がい者への理解」を
柱とし、市の責務・市民の役割・施策の策定及び推進・手話を学ぶ機会確保
・手話での情報発信・手話通訳者の育成・手話の普及などを規定した条例
骨子案が固まった。3月議会に上程し、4月施行を目指す。

女性・児童センターの方向性固まる。

「男女共同参画」機能は、他の公共施設へ移転して啓発活動を展開する。
「児童センター」及びグループ活動等に使用する「貸室」機能は、敷地内で新設する方向。
人気の「児童プール」は建て替えせず、存廃も含め代替機能を検討する、とのこと。
今後、利用者や登録グループ等から意見聴取をして、5～6月には基本計画案を作成する。



ウメ輪紋ウイルス、減っています。

感染すると果実に斑紋が現れ、成熟前に落果するなど、市内でも大きな被害
が確認されているウメ輪紋ウイルス。感染が確認されると伐採しているため、
市内感染植物数は3年前の160から31へと減少している。
来年度まで発生調査及び防除対策を継続し、対策効果の検証を行う予定。

「生活困窮者への家具等の提供に関する協定」締結。

市民が不要になった家具・家電を無償で引き取り、リサイクル販売して
いるシルバー人材センターの「シルバーショップ」(中野西1)。
この度、市とシルバー人材センターは、販売額3割相当分の家具など
を生活困窮者へ提供する協定を締結した。(店頭販売物に限る)
家具・家電等を処分される方はシルバーショップ(☎772-0222)へ。
なお、連絡される際に「生活困窮者支援を希望」と、ぜひ一言を。



フォト・ダイアリー [おおつる求ブログから]



[写真左から]

- 建築職人の組合・阪神土建労組、伊丹市と恒例の政策懇談会。
- 仙台空港の柱に刻まれている。東日本大震災時に津波 3.02m。
- 三池闘争中に刺殺された三池労組員・故久保清君殉難の碑。
(荒尾市・有明成田山大勝寺)

夏休みが短くなるって！

2020年度から実施される新学習指導要領には、小学校外国語教科化やプログラミング教育の導入などがあり年間授業数が増加する。

これを見すえ、教育委員会は来年度から小・中・特別支援学校の夏休み短縮や創立記念日休校を廃止し、年間授業日数を4～5日間増やす。

市政に対するご意見や疑問、お聞かせください。
困ったこと、悩んでいること、一緒に考えましょう。

大津留 もとむ

伊丹市議会議員 おおつる 求

[電話] 090-8122-7114 [Web] <http://ootsuru.com>

【プロフィール】1971年福岡県大牟田市生まれ。稲野町在住。

- 近畿大学法学部法律学科卒 ■ 国際交流NPOスタッフとして「地球一周の船旅」参加 ■ 中川智子衆議院議員(現宝塚市長)秘書 ■ 建築従事者の組合・阪神土建労働組合書記局に入局
- 2015年の伊丹市議会議員選挙に社民党公認で立候補、初当選。現在1期目 ■ 会派「フォーラム伊丹」所属。



幼児教育の充実を“大人の事情”だけで決めてはならない。

■ 3歳児保育など需要の高いサービスをしてこなかった為、申込者が大幅に減少している公立幼稚園改革として、「統廃合」「幼児教育の無償化」「幼児教育の充実」を目的に、8月に市が発表した『幼児教育推進計画案』。大胆な統廃合案に市民は驚いた。なぜ、こんな案になったのか？

■ 市長選公約「幼児教育の無償化」の財源確保する為に統廃合するのではないとつつ、統廃合しないと無償化出来ない、との答弁は理解不能。計画案全体に整合性も無く、説明会で話す現場職員が気の毒になった。

■ 内部資料によると、5月下旬に閉園幼稚園の土地売却益を財源に「無償化」したら、10年後の赤字が30億超と試算がでる。そこで統廃合基準に「市有地で活用可能な土地があれば、課題のある保育所を統合し新公立こども園化」という、「財源確保ありき」の方針が、急に加わる。

■ それ以降、子どもにも良い環境の視点や、地域事情の勘案等は後回し。関係ない公立保育所が“老朽化”と再編へ。「認定こども園」3園設立で赤字が1億円まで縮小された計画案が出来上がる。ある意味、お見事。

■ オカシイと市民が署名を提出し、議員が質問を重ねた。市は12月議会提出にこだわったが、「市民への周知不足」を理由に諦め、1月の臨時議会で「修正案」をだすと言う。ただ市民説明会は、1回開催してオシマイって。“周知不足、ここに極まれり”

■ 計画案発表から5か月。国は幼児教育無償化を進めると報道されており、市独自で財源確保する必要が無い状況だ。

■ 子どもにも市長や議員を選ぶ権利は無い。色々な意味で弱者であり、一方で私たちの“希望”だ。子どもにとって良い環境整備を、今後も市職員の方々と共に取り組んでいく。

日々の活動は、
ブログで発信しています

おおつるブログ

検索